

## 岩手県

事業所管：岩手県農林水産部流通課  
地域事務局：いわて6次産業化推進協議会

LFP パートナー数

38社・団体  
(2023.3 現在)

### ● 地域資源をコンテンツとした新たなツーリズムの創出

食関連事業者と観光事業の連携による、羊を中心とした中山間地の地域資源、未利用資源を活用した新商品、体験ツーリズムを生み出すサプライチェーンの構築。



羊を多面的に捉え、岩手の自然景観も含め体験型ツアー、肉加工食品、皮革製品を開発・販売。

### 新たなビジネスの価値

- 明治から続く歴史や文化、技術を受け継ぎ、中山間地域の農地保全や環境保全、衣食住の素材となる「めん羊飼育」を観光資源化。
- 岩手銀河鉄道が中心となって体験コンテンツを磨き上げ、三陸の水産物やワインなどの岩手の食の魅力も活用しながら、県内全域の観光地域づくりにつなげる。

### プラットフォームの体制

- 中山間地のめん羊をテーマに旅行会社等と連携し、伝統工芸品を情報発信するクラシカウンシル社がプラットフォームを牽引。

生産者、食品加工業者、福祉事業者、小売・流通事業者等、研究機関、地域金融機関、加えて観光事業者、デザイナー、機械メーカーなどが参画。

### ビジネス創出のプロセス

- 一般客のみならず、Z世代（日本女子大学）もモニターツアーに参画。様々な世代の消費者とLFPパートナー企業との直接的対話によって顧客の声を商品、サービスの開発に活かす場を開催。
- モニターツアーを通じて、ツアーにおける安全確保、防疫体制、二次交通、受入体制整備の追加投資などの課題を整理。商品化に向けた課題解決の取組を検討中。



Z世代や一般客を現地に招き、その体験や評価をもとに事業者と直接対話を実施。

### 新しい取組・仕組みづくり

- めん羊の革や肉等の未利用資源を活用し、食と伝統的なモノづくりを融合することで体験型ツアーの顧客満足度を向上。
- 岩手銀河鉄道を中心に、二次交通の課題解決のため、ローカルのバスやタクシー等の交通事業者との連携強化を模索中。